

高速道路で 故障したら…!?

1 ハザードランプを点滅させて路肩へ停車します。



ハザードランプを点滅させ、できるだけ路肩へ寄せます。橋やトンネル、狭い所では可能な限り広い所まで自走しましょう。

あわてない

2 発炎筒&停止表示器材を使いましょう。



同乗者を避難させてから発炎筒・停止表示器材を車から50m以上後方に置きます。燃料漏れの際は、引火の可能性があるので発炎筒は使用しないでください。

!!
注意

この場合、停止表示器材を表示しないと、「故障車両表示義務違反」となり、1点減点&6千円の罰金(普通車)となります。

万が一に備え、停止表示器材を購入しておきましょう。
現場で慌てないように、一度組み立てる練習をしておくとも良いでしょう。
トヨタカローラ広島各販売店でも販売していますので、お気軽にお声掛け下さい。

3 ガードレールの外へ避難します。



同乗者と一緒にガードレール外側へ避難します。橋や高架など外側に避難できない場合、車から離れてガードレールに身を寄せます。追突された際に巻き添えにならないように、車の後方に離れましょう。

4 救援依頼をしましょう。



1kmおきに設置してある非常電話か携帯電話で救援依頼をします。携帯電話の場合、場所が特定できるよう路肩にあるキロポストの数字を確認し、**JAFロードサービス救援コール【#8139】**に連絡して伝えましょう。

!!
注意

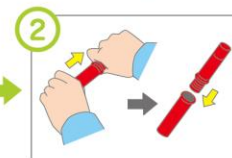
緊急時はできるだけ安全な場所に停車し、お客様自身も車外の安全な場所に避難してからお電話をおかけください。高速道路は大変危険です。決してご自身で作業せず、救援の到着をお待ちください。

発炎筒の使い方

必ず車外で使用してください。着火させる際は、筒先を顔や体に向けないでください。



助手席足元の発炎筒を取り出します。



本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして押し込みます。



先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をごすり、着火させます。